

# 新NISA×GBA型ラップが変える日本の資産運用 ～GBA支援ソリューションの新NISA対応方針～

---

2023年4月10日

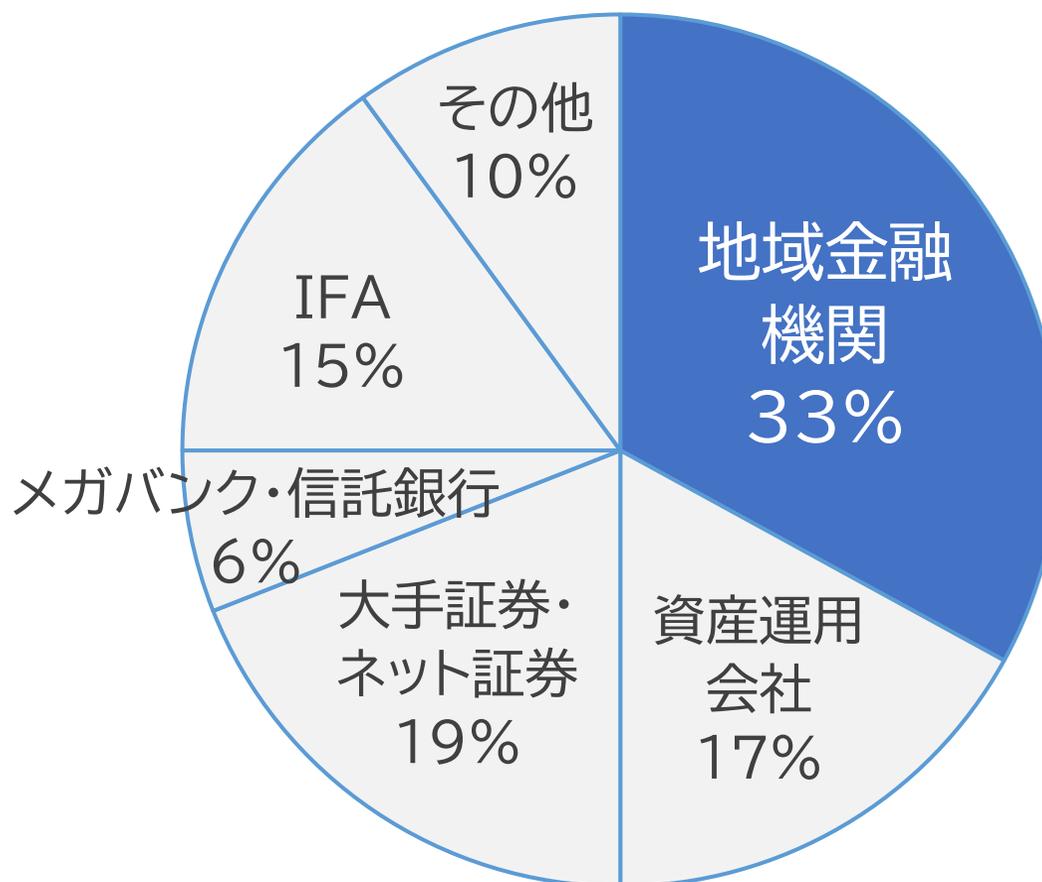


**Quick**

ご視聴ありがとうございます。

250名超のお申込みを頂き、反響の大きさを実感しております。ありがとうございます。  
特に地銀等の地域金融機関の経営・企画部門の関係者の皆さまのご参加を多く頂いています。

お申込を頂いたお客様のご所属



# アジェンダ

---

1. 新NISA×GBA型ラップで日本の資産運用がこう変わります
2. 弊社支援ソリューションの新NISA対応方針
3. 質疑応答

# アジェンダ

---

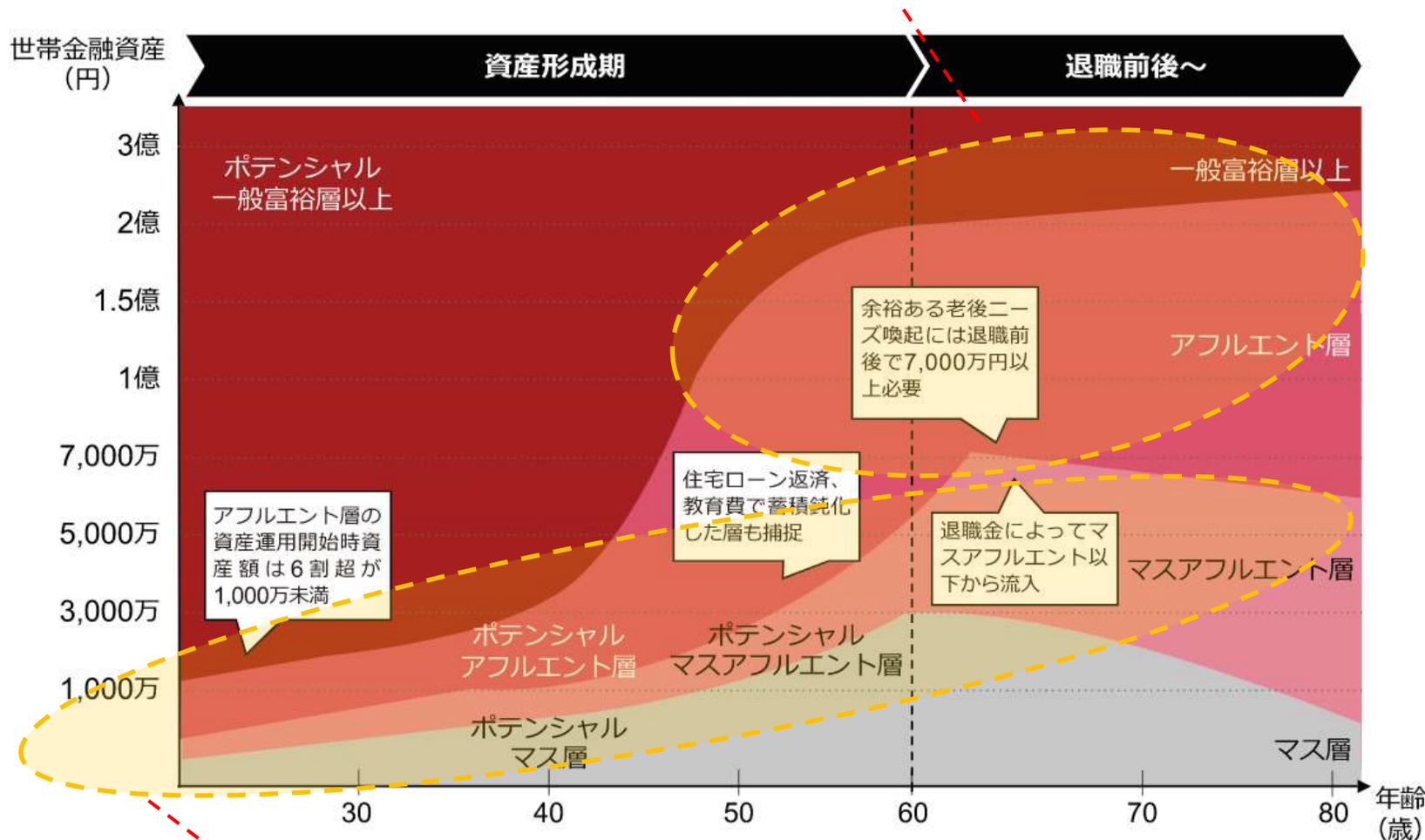
1. 新NISA×GBA型ラップで日本の資産運用がこう変わります
2. 弊社支援ソリューションの新NISA対応方針
3. 質疑応答

## これまでの問題①:前提として「資産運用」と「投資」の混同

	利用者の状況	資金需要の時期	需要金額の推計	商品等の時価
資金移転 (決済、送金)	資金余剰	現在	容易	確定
資金供与 (融資)	資金不足	現在	容易	確定
リスク移転 (保険)	資金余剰	遠い将来	困難	確定
資産運用	資金余剰	遠い将来	困難	変動
(投資)	資金余剰	近い～遠い将来	-	変動

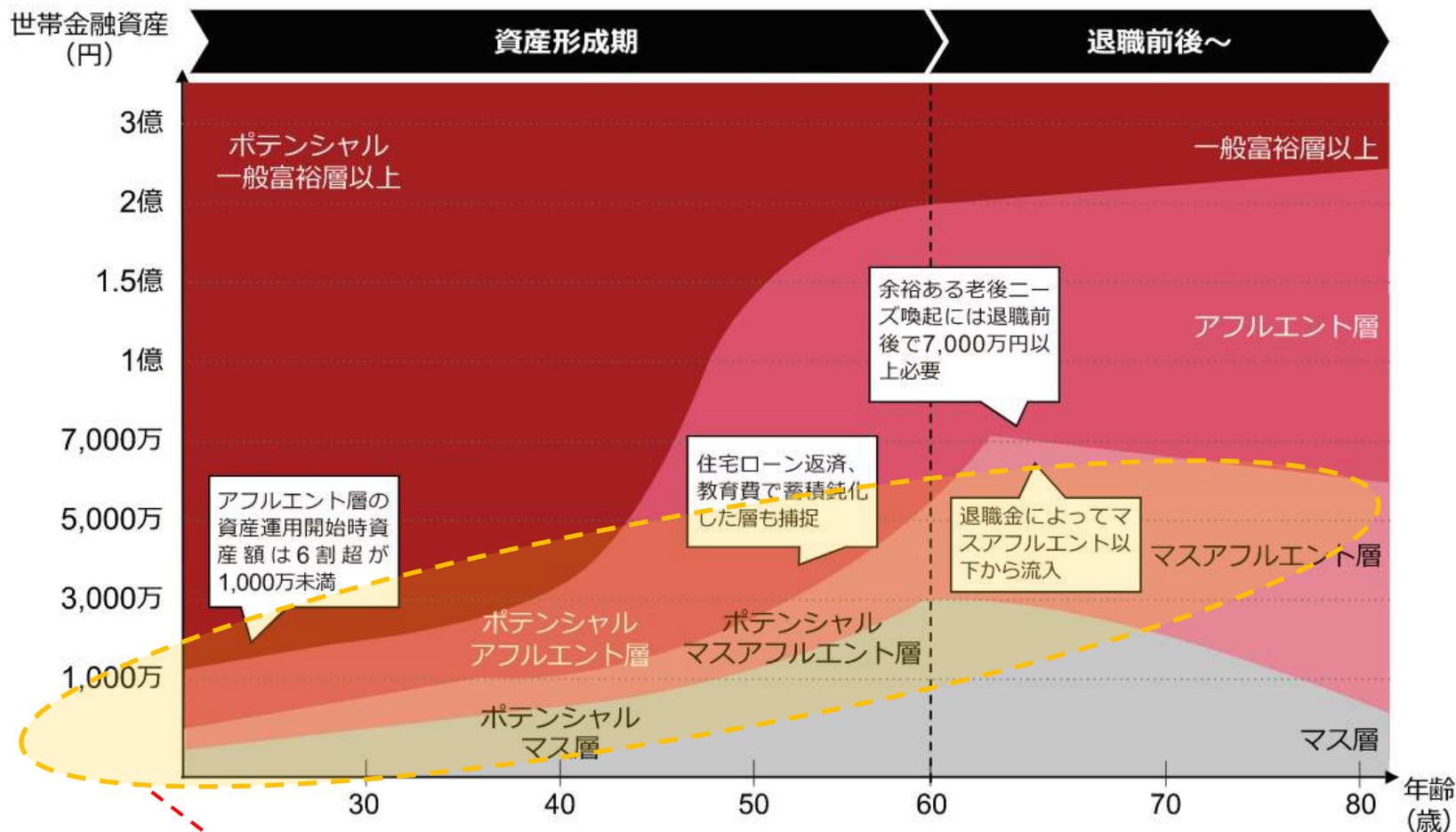
## これまでの問題②：資金性質やライフステージ等に応じた戦略の不足

生活から乖離した余裕資金に親和性があるのは「投資」商品



生活密着資金に親和性があるのは「資産運用」サービス  
「資産運用」サービスの品揃え不備やポテンシャル顧客見極め・早期関係構築等の未着手

# 今後の「資産運用」サービスのあり方と新NISAの可能性



- サービスとしては「GBA型ラップサービス」が適合
- 新NISAは無期限化ゆえ長期資産形成・運用に適合するとともに、拡充によって十分性も満たす
- ビジネスとしても「NISAは儲からない」からの脱却が可能

# アジェンダ

---

1. 新NISA×GBA型ラップで日本の資産運用がこう変わります
2. 弊社支援ソリューションの新NISA対応方針
3. 質疑応答

## 新NISA制度の概要(現時点で判明しているもの)

【令和5年度税制改正の大綱における2024年以降のNISA制度の抜本的拡充・恒久化の方針】

- 非課税枠の拡大(成長投資枠1,200万円)と制度の恒久化・無期限化により、投資家サイドの利便性向上、並びに事業者サイドの事業化が拡大
- 従来の現行NISAは非課税保有期間が有期限であったため、生活者のライフプランをサポートするような資産運用サービスには使いづらいという難点があったが、新NISAはそれが解消

### 現行NISAと新NISA制度の概要について

項目	現行NISA		新NISA	
	つみたてNISA	一般NISA	つみたて投資枠	成長投資枠
制度実施期間	~2042年末 新規買付:~2023年	~2023年末	2024年1月~(恒久化)	
制度選択	併用不可		併用可	
非課税枠の管理	年間買付額を管理		生涯非課税限度額を管理 (売却時も投資枠再利用可能)	
生涯非課税限度額	800万円	600万円	1,800万円	(内数として1,200万円)
年間投資上限額	40万円	120万円	120万円	240万円
非課税保有期間	20年間	5年間	無期限	
対象年齢	18歳以上			
購入方法	積立	スポット・積立	積立	スポット・積立
対象商品	投資信託 (金融庁が指定する銘柄)	株式・投資信託	つみたてNISAと 同じ	株式・投資信託 (一部対象外あり)

# NISA/新NISAに対応する唯一のソリューション

当社独自の「投資一任報酬内蔵型投信活用スキーム」では、投資一任契約毎に口座内で保有するのは専用投信1本のみであり、ポートフォリオのリバランスは当該投信内で行なうため、「年間投資上限枠」を浪費しない

## 従来のファンドラップスキームと弊社スキームの比較

### 従来のファンドラップスキーム

### 弊社の独自スキーム (投資一任報酬内蔵型投信活用スキーム)

サービス性	「ポートフォリオのカスタマイズ運用」をアピール	「プラン(資産運用計画)のカスタマイズ」を重視
預かり口座	投資一任専用口座	通常の投資信託口座等
スキーム	個別のポートフォリオを構築・運用	専用投資信託を1本保有・運用(複数ゴール毎)
投資対象	資産クラス毎の専用投資信託	バランス型の専用投資信託
リバランス	保有投資信託の売買 (口座内で売買)	投資信託の中でリバランス (口座内での売買は発生しない)
NISA 年間投資上限枠	リバランスの都度、枠を消費	リバランスで枠を消費せず

## 弊社ソリューションの新NISA対応方針

- 「投資一任報酬内蔵型投信活用スキーム」を活用することで、ポートフォリオのリバランス時の投資上限枠の浪費という問題は克服できるため、新NISA対応のファンドラップの提供が可能。
- 今後の新制度の詳細発表によるものの、現状でアナウンスされている内容であれば、弊社スキームによるNISA対応は可能と考え、新NISA対応の支援ソリューションを提供する方針。

### 新NISA制度における弊社対応方針

#### 弊社の独自スキーム (投資一任報酬内蔵型投信活用スキーム)

#### 新NISAへの対応可否

- 弊社スキームは、通常ファンドラップのスキームと異なり、リバランス時の投資上限枠の浪費が発生しないため、NISA対応ファンドラップの実現が可能。
- また、弊社スキームは、他のファンドラップと異なり投資一任口座を別途開設せず、既存の投信口座を活用するため、口座面での新NISAへの対応が可能。

#### 新NISA対応に関する方針

- 口座管理機関側でNISA枠管理等の対応を行ない、その情報を連携頂く等の前提のもと、成長投資枠において対応ソリューションを提供する方針

#### 留意点

- 3月末に改正された所得税法や告示等における成長投資枠の対象ファンドに係る除外条件(償還期間20年未満、高レバレッジ型、毎月分配型)以外の条件が付されるか今後の動向を注視する必要はあり。
- 但し、金融庁等へのヒアリングからは問題ないものと思料。

# アジェンダ

---

1. 弊社支援ソリューションの新NISA対応方針
2. 新NISA×GBA型ラップで日本の資産運用がこう変わります
3. 質疑応答

## お寄せ頂くことの多いご質問

弊社NISA対応方針について、お客様よりお寄せ頂くことの多いご質問とそれへのご回答をご案内した後に、質疑応答のお時間に入らせて頂きます。

### お寄せ頂くことの多いご質問

#### ①ビジネス面

新NISAも現行NISAと同様に資産形成層がネット証券で低コスト商品を買進める流れは変わらず、多くの金融機関にとって結局収益に繋がらない制度となるのでは？

#### ②顧客メリット

コア資産狙いで運用がコンサバなGBA型ラップだと非課税メリットが小さいのではないかと？サテライト資産狙いでリスクリターンの高い投資の方が新NISAに適すのではないかと？

#### ③提案イメージ

新NISAでGBA型ラップを提案する場合の想定顧客とその提案内容は？

#### ④他社比較

新NISA制度の開始を見据え、各ファンドラップの提供会社が、新NISAに対応するシステム改修を行う動きが見られる。他社ラップが新NISA対応を進める場合に一番ネックになるのは何か？また、それらのネックは解消出来るのか？逆にそこがGBA型ラップの強みと考えてよいか？

## お寄せ頂くことの多いご質問①

### ①ビジネス面

新NISAも現行NISAと同様に資産形成層がネット証券で低コスト商品を買  
い進める流れは変わらず、多くの金融機関にとって結局収益に繋がらない  
制度となるのでは？

**お答えします！**

NISA上限額の引き上げに伴い、NISA制度を活用して長期の資産運用に取り組む人の層がこれまでより広がると想定しています。低コスト商品を提供するのではなく、お客様の長期の資産運用をサポートするGBAラップを新NISA向けのコアサービスと位置付けることで収益化は可能と考えます。

## お寄せ頂くことの多いご質問②

- ②顧客メリット コア資産狙いで運用がコンサバなGBA型ラップだと非課税メリットが小さいのではないかと？サテライト資産狙いでリスクリターンの高い投資の方が新NISAに適すのではないかと？

### お答えします！

高リスク高リターンの商品で頻繁に売買を繰り返す場合、損切りをしたら非課税メリットが逆にゼロになってしまいます。

新NISAが無期限となったことを考えると、むしろコア資産を安定的な運用で長期に着実に育てていく手法を取るGBA型ラップの方が新NISAに適すと考えます。

## お寄せ頂くことの多いご質問③

③提案イメージ 新NISAでGBA型ラップを提案する場合の想定顧客とその提案内容は？

お答えします！

例えば、50代の退職前世代のお客様に対して、毎年成長投資枠上限の240万円ずつ5年かけてGBA型ラップで積立て、5-10年ほどの据え置き期間を経て、退職後に生活資金に充てるために30年かけて取り崩していく提案等が想定されます。

## お寄せ頂くことの多いご質問④

### ④他社比較

新NISA制度の開始を見据え、各ファンドラップの提供会社が、新NISAに対応するシステム改修を行う動きが見られる。他社ラップが新NISA対応を進める場合に一番ネックになるのは何か？また、それらのネックは解消出来るのか？逆にそこがGBA型ラップの強みと考えてよいか？

### お答えします！

通常のリバランシングは、複数のファンドでポートフォリオを構築するため、NISA 枠を浪費しないでポートフォリオを変更することが困難です。GBA型ラップはラップ契約内蔵の専用投資信託1本で運用し、ポートフォリオ変更は投信の中で行われるため、リバランスにおいて枠を消費しません。この点はGBA型ラップの優位性と考えています。

なお、他社様のサービスの実現性に関してはコメントできない点につきましてはご了承ください。

## お問い合わせ

---

株式会社日本資産運用基盤グループ

金融機関コンサルティング部

03-3527-3810

[bizrelation@jamplatform.com](mailto:bizrelation@jamplatform.com)



**Quick**